OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援（近畿領域3プロジェクト）
Author(s)	大阪大学附属図書館; 奈良女子大学附属図書館; 龍谷大学図書館 他
Citation	
Version Type	
URL	https://hdl.handle.net/11094/14151
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援（近畿領域3プロジェクト）

報告者：（連携機関） 龍谷大学図書館事務部（深草） 芝野 朋子

国立情報学研究所 平成23年度CSI委託事業報告交流会
平成24年6月12日

PJ事業概要（平成２３年度）（１）

・機関リポジトリ連続研修会の開催、
機関リポジトリの導入を推奨
（構築・運営の問題点等を議論・情報共有）

・近畿外の地域の機関リポジトリ・
コミュニティの形成支援

PJ事業概要（平成23年度）（2）

・先進的な機関リポジトリ運営大学訪問
（当該地域のリポジトリコミュニティの形成、
知識やスキルを近畿のコミュニティに還元）

・機関リポジトリ未構築の近隣大学訪問
（連続研修会に参加された近隣大学への
機関リポジトリ構築への後押し）

PJ担当機関・担当内容

担当	大学	担当内容
代表機関	大阪大学	プロジェクト統括、事業計画立案、 旅費支出
連携機関	奈良女子大学	講師派遣、ワークショップ支援
	龍谷大学	ワークショップ開催、講師派遣
	神戸市外国語大学	ワークショップ開催、講師派遣、HP管理
	大阪市立大学	ワークショップ支援、アンケート整理

事業実施内容

連続研修会（名古屋含む）開催　５回

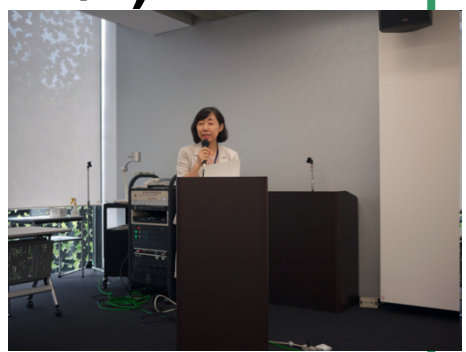
先進的機関リポジトリ
運営大学訪問　　２回

機関リポジトリ未構築
近隣大学訪問　　３回

第１回連続研修会

研究成果公開のためのリポジトリ

8月28日(金)@追手門学院大学(大阪府)
参加者　58名



- PJからの年間予定報告
- 機関リポジトリ概論
- 機関リポジトリ運用の実際
- コンテンツ登録作業の実際

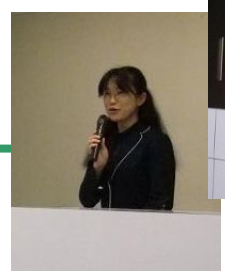
追手門学院大学から自大学のリポジトリ構築の研修会として、近畿領域3PJに研修会開催依頼！

CSI委託事業によらず独自経費で開催!!

第２回連続研修会

９月16日(金)@神戸松蔭女子学院大学(兵庫県)
参加者５１名

- 機関リポジトリの事業と館員の役目
- 事例報告（びわこ成蹊スポーツ大学）
- NII　共用リポジトリ説明会
- 事例報告（聖学院大学）



名古屋　研修会

10月21日(金)@椙山女学園大学(愛知県)
参加者42名

- 機関リポジトリをする意義
- 機関リポジトリ構築後の実際の作業
- IR構築へ向けて（神戸市立外国語大学）
- IR構築へ向けて（大阪青山大学）
- NII　共用リポジトリ説明会
- 名古屋地区の先行機関から（愛知教育大学）
- 名古屋地区の先行機関から（名古屋工業大学）

第３回連続研修会

11月18日（金）@京都ノートルダム女子大学（京都府）
参加者43名

・必ず聞かれる著作権：
　SCPJデータベースの便利な使い方（筑波大学）
・龍谷大学こんなんしています（龍谷大学）
・機関リポジトリのコンテンツ（千葉大学）
・テーマ別グループディスカッション
（著作権・コンテンツ収集・学内合意・
電子化仕様メタデータ）

第４回連続研修会

12月9日(金)@奈良先端科学技術
大学院大学（奈良県） 参加者34名

・論文と研究者を結びつける
：機関ﾘﾎﾟｼﾞﾄﾘと業績DB（金沢大学）
・図書館のファンを増やす（大阪大学）
・改めてPPP（千葉大学）
・ちょっとはじめるリポジトリ（奈良先端大）
・今年の近畿領域3活動総括

連続研修会アンケート

・研修会参加の皆様にアンケートに
ご協力いただいています。（無記名）

【アンケート質問事項】

1. あなたの機関は？（機関種別）
2. あなたの機関リポジトリは？（構築状況）
3. 機関リポジトリを構築するとして、何が一番不安？
4. 今日の話の中で何が一番参考になりましたか？
5. 今後どんなテーマを取り上げてもらいたいですか？
6. 何でもいいので感想をお願いします。

連続研修会参加者集計（機関種別）

	参加者（総数）	機関種別（アンケートから）			
		私立	公立	国立	その他
第1回	58	14	5	8	2
第2回	51	24	5	10	1
名古屋	42	23	4	3	0
第3回	43	13	5	11	0
第4回	34	10	3	13	0
合計	228	84	22	45	3

＊参加者総数は、講師・スタッフを含めた総人数
（そのため、アンケート回答数は、それより少なくなります）

連続研修会参加者集計
（機関リポジトリ構築状況）

	構築種別（アンケートから）				
	構築済	構築中	検討中	機運だけ	白紙・その他
第1回	8	5	12	3	5
第2回	12.5	2	15.5	2	8
名古屋	9	1	16.5	2.5	2
第3回	16	1	12	1	0
第4回	15	5	4	0	2
合計	60.5	14	60	8.5	17

機関リポジトリを構築するとして、何が一番不安？（複数回答）

	導入経費	維持経費	職員（マンパワー）	技術的知識	その他・無回答
第1回	4	5	18	10	2
第2回	8	8	10	6	10
名古屋	7	8	13	8	4
第3回	2	3	17	2	5
第4回	2	3	17	2	5
合計	23	27	*75*	28	26

お金よりも図書館で人材が確保できるかという不安が多いようです。

今後、研修会で取り上げて欲しいテーマ

メタデータについて

著作権処理

導入にあたっての失敗例

教員へのアプローチ、営業のノウハウについて。

わかってくれない人（事務局の人たちとか）への説得方法を知りたい。

WEKO ワークショップ

IRと研究者DBの連携

業務を通常業務にしていくための智恵

学内合意の事例報告

事業の継承（引き継ぎ）

技術的ワークショップ

第１回アンケートから

実務でしなければならないこと、すべてを盛り込んでくださったので、参考にさせていただきます。

新しい発見が、いろいろありました！

学術情報の流通に対して、図書館員から働きかける意義が印象的でした。

研究者支援の部署に所属しているので、図書館スタッフとは違う立場でお話を伺いました。リポジトリは大学全体の取り組みとなるという認識をもつ強い機会になりました。

第２回アンケートから

他大学とのコミュニケーションの中で、本学の情報収集の遅さを痛感しました。今後も新しい情報等の交換がはかれると良いと思います。

熱意があれば、やりとげられる。（・・・）
仲間がいるというのはとってもうれしいことです。

めちゃくちゃ自由な発言、たのしかったです。

WEKOにはやられました。

名古屋アンケートから（１）

判断に困ることや、つまづく部分は、同じなのだろうと感じました。何事もはじめてのことなので、正直何をどう進めるのか、どう進むべきかとまどっているのが本音です。しかし、とりあえず進めてみる姿勢が大切だと思いました。義務感や負担感だけでなく、つくりあげていく喜び、使ってもらい便利と思ってもらえる喜びを感じられるよう、業務を進めていきたいと思いました。様々な大学の事例を聞くことができ、参加してよかったです。

おもしろく、勇気がわいてきました。

名古屋アンケートから（2）

今後進めていく上でイメージをつくることができました。

前に進むのみ!!
楽しんでやりたいです。

話を聴けば聞くほど、共用リポジトリサービス(WEKO)が使いやすそうでうらやましいです。

東海地域のリポジトリへの関心の高さをビシビシ感じました。東海地区にもコミュニティが形成されるといいですね！

第３回アンケートから

SCPJのお話が勉強になりました。CSI報告会でも一度聞いていましたが、再度聞くことができて理解が深まりました。

グループ別ディスカッション、みんながあつまればアイディアが出てきて楽しかったです。

はじめて参加させていただき、ネットワークが構築されていて頼もしく感じました。

違う視点を知ることができたのは有意義であった。

第４回アンケートから（１）

参加するたび発見があり実際の構築の参考になります。

とっても温かい研修会、ありがとうございました。

リポジトリに対し先生が論文・成果発表の場として価値を見出して下さるようﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄが必要だと思いました。身近な所から始めるのが大事だと思いました。

楽しい会でした。又、皆様とお会いしてお話したいです。

主催者側の身のある話をしようという意図がよく伝わる研修会です。

第４回アンケートから（２）

今年はこの１回しか参加できなかってさびしいです。またやってくださいね。

今年も１年間、ありがとうございました!!

IRについて少し理解が進んだような気がします。

「CSIのお金がなくても、自分たちが必要と思えば、できる」がんばりましょう。

これからもこうしたコミュニティを続けていきたいです。

先進的機関リポジトリ運営大学訪問

- 10月17日（月） 東北大学
- 12月　1日（木） 金沢大学

それぞれの地域での機関リポジトリ
コミュニティはまだない。 →今後の課題（?）

それぞれの大学は、<u>リポジトリと研究業績DBとの相互連携システムの先行導入大学</u>
リポジトリ業務がしっかりと図書館の業務に
位置づけられており、見習うべきことが多分にあった。

機関リポジトリ未構築 近隣大学訪問

1）12月19日（月） 大阪青山大学
2） 2月28日（火） 朝日大学
3） 2月29日（水） 京都女子大学

・教員向け機関リポジトリ説明会（講師）
・図書館管理職、図書館職員に導入の基礎を説明・質疑応答

→1大学がJAIRO Cloudにエントリー!

PJの成果

昨年度の活動実績により、独自経費での機関リポジトリ連続研修会開催

NIIと連携し、JAIRO Cloud説明会を連続研修会とともに実施。未構築機関への機関リポジトリ構築の後押しができた

その結果

・8つの機関がJAIRO Cloudへのエントリー
・2つの機関が独自に機関リポジトリを構築
・2つの機関が構築にむけて真摯に検討中

これからの近畿領域3PJ

平成24年度以降は、近畿では経費的に自立し、
独自経費での機関リポジトリ研修会開催予定

研修会以外の機会でも、機関リポジトリや
学術情報のオープンアクセスに関して、
直接の担当者間のコミュニティは継続し
（担当者が変わっても）、
相互に情報交換、情報提供していきたい。

平成24年度以降の活動

近畿で実践できたように、同様に
大学の密集地域である名古屋・
東海地区での機関リポジトリ
コミュニティ形成をめざすべく、
NIIに申請中

近畿領域3もそれをサポートする

http://cont.library.osaka-u.ac.jp/kinki3/

ご静聴ありがとうございました。

これからも機関リポジトリについて、気兼ねなく
情報交換を行い事業を継続していきましょう！